

甚目寺小学校のみなさんへ

～今すべきこと、今しかできないことに挑戦し、ピンチをチャンスに変えていこう～

3月に突然、学校が休みとなり、4月7日の始業式に一日だけ学校に来ましたが、今また、5月いっぱいまで学校が休みとなりました。みなさんはどんな毎日をご過ごしていますか？

今回の新型コロナウイルス感染では、世界中の人を不安にし、みんなから多くの自由を奪いました。しかし、ぐちったりなげいたりしていても、気持ちが暗くなるばかりです。ここはどうか、ピンチをチャンスに変えられるように毎日をご過ごしてほしいと思います。

まず、これまで当たり前だと思っていた、「毎日学校に行ける」ということをありがたく感じられました。それだけでも貴重な体験になりました。これからは「学校に行かせてもらっている」という感謝の気持ちをもちたいと思います。

次に、今回のことで世の中も大きく変わろうとしています。その中で、これからインターネットを利用して、家でも行える仕事が増えていきそうです。そうなるとこれからは、ますます自分で計画を立て、自分の責任で行い、終わったら反省をしながら次の計画に生かしていくという力が必要となってきます。その中で成果が求められる厳しい時代になりそうです。この休校中は、そんな力を身に付けるチャンスです。これからの3週間は、自分で学習計画を立て、それを反省しながら修正し、自分の責任で成果を上げていく、そんな過ごし方をしてください。学校の再開後には3年生以上は全員、課題の中から「漢字50問テスト」をします。主体的な学習の成果をぜひ出してください。期待しています。

3つ目に、今はお家の方も自宅にいる日が多いと思います。言い換えれば、お父さんやお母さんの信頼を勝ち得るチャンスです。君たちの中には勉強がきらいな子もいるかもしれません。しかし、思えば幼い頃から自分で、一人で、何でもできるようになることは、みんな好きだったはずで、本当は勉強が嫌いなのではなく、他の人からあれこれやりなさいと無理強いさせられることがいやなのかもしれません。今は、お家の人から「勉強やりなさい」と言われる前に机に向かうことで、言われなくても自分から進んでできることを証明できるチャンスです。そして、すすんでやれば勉強も結構楽しいことに気づくことでしょう。そんな体験を多くの子にしてもらいたいと思っています。

最後に、多くの時間が与えられています。勉強の時間は、集中すれば1日「30分×学年」で十分です。それ以外の時間をどう使うかは、みなさん次第です。ぜひ、自分の得意なこと、好きなことを伸ばしてください。得意なこと、好きなことがない人は、ぜひ見つけてほしいと思います。こんなチャンスは今後なかなか巡ってこないかもしれません。ぜひ、胸をはって自分を誇れる子、自分を好きになれる子が増えてほしいと思います。学校が始まって、休校中の日々をふり返ったときに、自分で自分を誉めてあげられる子であってほしいと思います。

もう一回りたくましく成長した皆さんに会える日を楽しみにしています。がんばってください。

甚目寺小学校 校長 田邊 孝博